

評価シート 様式

| | | | |
|---------|-------------------------------|-------|----------------|
| 取組名 | おんたけ有機構想による、「調和と循環の地域再生」モデル事業 | | |
| 実施団体名 | おんたけ有機構想連絡協議会 | 対象地域 | 木曾町開田高原及び木曾町全域 |
| (代表団体名) | 木曾町 | 推薦団体名 | — |

| | | | |
|---------------|---|---------------------------|--|
| ① 実施 状況 | 提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか | ② 実施 体制 | 平成20年度に行われた取組の実施体制について |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。 |
| | (備考・特記事項) | | (備考・特記事項) |
| | | | |
| ③ 効果 | 平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について | ④ 継続 展開 の見 込み | 平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 |
| | (備考・特記事項) | | (備考・特記事項) |
| | | | |

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

| | | | |
|---------|-------------------------------|-------|----------------|
| 取組名 | おんたけ有機構想による、「調和と循環の地域再生」モデル事業 | | |
| 実施団体名 | おんたけ有機構想連絡協議会 | 対象地域 | 木曾町開田高原及び木曾町全域 |
| (代表団体名) | 木曾町 | 推薦団体名 | — |

| | |
|-----------|--|
| ⑤ 総合評価 | ○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 農業を中心に、環境、観光を複合させた取組であり、農業自体を観光資源とする新たなビジネスモデルの創出を行い、先導性・モデル性もあると高く評価できる。 また、生産から消費、廃棄物利用までの循環リサイクル形成、観光資源化や地産品づくりなど、地域経済への相乗効果・波及効果も期待できる。 |
| | ○ 評価 |
| | ■ ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。 |
| | □ 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。 |
| | □ ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。 |
| | (評価の考え方及び次年度以降に向けた所見) |
| | 環境負荷の小さい農業を確立することにより、美しい自然環境の維持に加え、特産品を活用した加工品や料理の開発を行い、さらには農業自体を観光資源とする新たなビジネスモデルを創出したという点で地域活性化に大きく寄与する取組であると評価できる。 |
| | 平成21年度は、地方の元気再生事業として支援を行わなくても今年度の成果をふまえ、自主財源による加工品開発やバイオマスプラント建設等のハード整備への移行が見込まれており、引き続き農業を中心とする複合的な取組を着実に進めることにより、本格展開が期待できるものである。 |